



第31次派遣海賊対処行動航空隊出国

ソマリア沖・アデン湾で海賊対処の任務に就く第31次派遣海賊対処行動航空隊（指揮官・高橋英樹2佐）の出国行事が4月19日（木）、八戸航空基地において行われました。

派遣海賊対処行動航空隊の任務は、民間船舶を脅かす海賊等が乗船した船舶の警戒監視であり、各国の海軍等と協力し、船舶の航行の安全確保に努めることです。31次隊は、第2航空群に所属する隊員を基幹とする約60名で編成されており、第2航空群からの派遣は、平成22年2月の3次隊派遣以来、今回で9回目となります。

出国行事では、小野寺五典防衛大臣及びソマリア沖・アデン湾方面 派遣海賊対処部隊指揮官である山下万喜自衛艦隊司令官の訓示を第2航空群司令が代読し、無事な帰国を願う気持ちとともに厳しい任務にあたる派遣隊員への激励の言葉が伝えられました。その後、31次隊の指揮官から第2航空群司令へ出国報告がなされた後、31次隊の隊員は、ご家族や八戸航空基地の隊員に見送られながら、P-3Cに乗り込み、拠点があるジブチ共和国へ意気揚々と飛び立ちました。

ジブチ共和国では、日本とは異なる過酷な環境下での勤務となりますが、31次隊の隊員は、約3か月間の任務を完遂し、総員が元気に帰国してくれるものと信じています。

出国行事にて、第2航空群司令が防衛大臣及び自衛艦隊司令官の訓示を代読しました





出国行事にて、第2航空群司令が代読する訓示を受ける派遣隊員です



出国行事にて、第2航空群司令に出国報告を行う第31次派遣海賊対処行動航空隊指揮官 高橋2佐です



出国報告を終え、八戸航空基地の隊員とご家族から見送られる派遣隊員です！



派遣隊員はP-3Cに乗り込み、いざ出発です！



ジブチに飛び立つP-3Cを見送る隊員は、「いってらっしゃい」のメッセージを掲げました！



ジブチに飛び立つP-3Cは、「いってきます」のメッセージを送りました！





いよいよ出発です！



ご家族も大きく手を振って見送ります！



遥か遠いジブチに向け、離陸していきました！

